

(様式1)

令和2年度 学校評価結果報告書

(1) 学校教育目標	本校は、農業、商業、家庭並びに体育に関する学科を持ち、専門的な学習や実践的な活動を通して、人間性豊かで、社会に貢献できる人材の育成を目的とした男女共学の総合専門高等学校である。各学科において、それぞれの特色を十分に発揮しながら、生徒一人一人が自己に適した「一能一芸」を伸ばし、部活動や資格取得に励み、心身ともに健康で、生涯を通じて「生命(いのち)」と価値(ねうち)」を探究する人間の育成を目指す。
------------	--

(2) 現状と課題	本校生徒の多くは専門的な知識の習得に励むとともに、部活動にも精力的に取り組む成果を上げている。一方、生徒は様々な分野に潜在能力を秘めているが、現状に甘んじる傾向がある。生徒の能力・意欲を引き出すために各科目及び各教科横断的な指導の工夫がいつそう教職員に求められる。そのため、教職員の共通認識・理解を図り、生徒の持っている潜在能力を引き出し、さらに伸ばさせる全教員連携の教育活動の充実を図りたい。
-----------	---

(3) 重点目標	1. 授業第一主義の確立及び各種検定資格や職業資格の取得
	2. 挨拶の励行、時間の厳守、場に応じた言葉使いの習慣化
	3. 個に応じた進路指導体制の強化と志望達成のための意識の育成
	4. 勝利至上主義に走らず、人と協調して生きる態度や困難を克服するたくましさを育成するための部活動のさらなる活性化

(4) 結果の公表	学校ホームページでの公表
-----------	--------------

学校番号	53
学校名	弘前実業高等学校
課程	全日制の課程

自己評価実施日	令和2年12月23日(水)
学校関係者評価実施日	令和3年1月27日(水)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員会(5名) 地域産業界(3) 元本校職員(1) 元本校保護者(1)

番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	学校関係者評価	
					(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10) 次年度への課題と改善策
1	(1) 基礎学力の定着及び学科特有の資格取得と技能の育成 (2) 特色ある授業の推進	①生徒の進路志望等に即した弾力的な教育課程の編成 ②学科間の横断的な指導及び交流を踏まえた総合選択制の効果的な運用 ③少人数制学習指導の推進 ④各種検定資格の取得に向けた取組の推進 ⑤校内外における研修の推進	①生徒の進路志望に応じた選択科目・総合選択制に重点を置き検討・設定を行った。 ②総合選択制では、当初の在り方を確認し、開設科目の検討・設定及び運営方法を検討した。 ③数学科及び英語科等で個別指導の機会を多くするため少人数での学習指導を行った。 ④各学科において、検定資格取得に向けての指導を行った。 ⑤外部講師による特別支援教育に係る校内研修を行い、特別な支援が必要な生徒の理解を深めた。	B	・落ち着いた授業に取り組んでいる姿を見て、いい雰囲気だと感じた。 ・農業経営科の募集停止は寂しい。総合選択で農業科目を設定しているが、引き続き来年度以降の入学にも適応させてもらいたい。 ・今回制作したDVDは実業の各科の取り組みが非常に理解しやすいものであり、生徒の生き生きとした姿が映し出されていた。今後も各科の特色を引き出す指導をお願いしたい。	・基礎的な学力差が大きい科・学年においては、引き続き、少人数制の授業の実施や授業改善により、下位層の生徒のやる気を引き出すとともに、上位層の学力向上を図る。 ・本校特有の総合選択制のメリットを生かし、教科横断的な指導の工夫など、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ・総合的な探究の時間及び課題研究の指導の中で学科間連携を深め、探究型学習の充実を図る。
2	(1) 挨拶や容儀等を通じた規範意識の醸成を目指した指導の充実	①毎日の登校時指導による挨拶の励行 ②定期的な服装容儀指導の実施 ③遅刻指導 ④全教員による生徒指導体制の構築 ⑤教育相談の充実	①登校時の教員による声かけ活動など、年間を通じた継続指導によって基本的生活習慣が身に付き、挨拶や服装容儀に改善が見られた。 ②生徒の時間を守るという意識が向上している。 ③学校全体として落ち着いた教育活動が行われている。 ④スクール・カウンセラーの活用や教育相談委員会で情報の共有を通じて、指導の充実が図られた。	A	・爽やかな挨拶をしてくれる生徒が多く、フレッシュな気持ちになる。非行問題も少なく、部活動も一生懸命やっているようだ。基本的なものを捉えて、今後も頑張ってもらいたい。 ・コロナ禍において行事の中止・縮小がされてきたようだが、伝統として培ってきたものを途絶えさせることなく、次に伝えられるよう指導を続けていただきたい。 ・コミュニケーション能力がないと言われていたが、自ら図る姿勢を育てていただきたい。	・コロナ禍においても学校生活や将来に向け、しっかり目標を持てるような指導の継続に努める。 ・今後も生徒の質や社会状況を考慮しながら、全教職員による指導の充実を努める。 ・コロナ禍において心の不調を訴える生徒が多く、スクール・カウンセラーとの面談は非常に有益であった。今後も連携をとり、生徒の心の成長を見守る姿勢作りを努める。
3	(1) 一人一人の能力・適性等を把握し、個に応じた進路指導の充実	①進路ガイダンスや進路講演会の実施、企業や学校の見学会や説明会への参加奨励 ②進路資料室の開放、進路相談の充実 ③進路志望調査、進路情報交換会の実施 ④放課後や長期休業中の進学講習や公務員講習の実施、面接・小論文対策講座の開催	①進路実現にむけての進路意識の高揚を図り、主体的な進路選択ができるよう促した。 ②就職・進学に関する各種情報の提供を行った。 ③生徒一人一人の適性・能力に応じた進路志望の実現ができるよう、助言・指導を行った。 ④受験に対応できる力の養成を図り、進路志望実現に向けて取り組んだ。	B	・実業の卒業生は、挨拶がしっかりしていて人当たりも良く、評価が高い。授業や部活動での指導と思われるが、当たり前前のを当たり前前にはできない若者も増えている。今後も指導をお願いする。 ・実社会に出ることを考え、臨機応変に立ち振る舞いができる人作りをお願いしたい。 ・地元では実業卒の先輩が多く活躍している事や優秀な企業が多い事を生徒に伝えてもらいたい。そして地元を支えてほしい。	・進路の早期決定を図りながら、学年・学科・部活動との情報共有及び連携をさらに強めることにより、生徒一人一人の進路実現を目指す。 ・情報収集、収集手段と的確な確認方法の指導を行う。 ・専門高校としての進路指導の在り方について、教職員間の共通理解を図る。 ・数年にわたり整備してきた外部講師による公務員講習の一層の充実を図る。
4	(1) 部活動のさらなる活性化	①生徒の力を十分に引き出すための部活動の環境整備の推進 ②競技力向上を目指した取組への積極的な参加	①グラウンドの設備補修など、運動部活動の環境整備に努めた。 ②科学的なトレーニング方法の積極的な導入に努めた。	A	・多くの大会やイベントが中止となったことは一生懸命に取り組んできた生徒たちには非常に残念であったと思う。見通しも不透明であるが、指導を通して生徒の不安を払拭できるよう努力したい。	・部活動においては、勝利至上主義に走らず、人と協調して生きる態度や困難を克服するたくましさを育成する本校の基本方針を再度確認しながら指導を進める。

(11) 総括	基礎学力の定着に対して、生徒の理解度に応じた学習指導を展開するなど、「授業第一主義」の実践に教員が取り組んでいる。今後は教科横断的な指導を工夫するなど、生徒が主体的、対話的に学習できるような授業改善を教員に求めている。各学科がそれぞれ活発に活動しているが、さらに特色ある活動を実現させていくためには、総合選択制や課題研究等の指導を工夫するなど、各学科間の連携を充実させる必要がある。生徒の多様な進路希望達成のためには生徒指導が共通の土台となるため、部活動の指導を基盤として、教職員が一丸となって基本的生活習慣の確立と道徳性を養うことをいっそう充実したいと考える。本校の教育の柱は、学科の専門性を探究することと調和のとれた人づくりのための部活動を推進することである。引き続き今後も、生徒に寄り添いながら愛情を持って接し、専門職としての自覚と誇りを持ち、生徒の素質を引き出すことを教師像として掲げ、社会に貢献できる人材の育成を目指したい。また今年度、ホームページ上での情報発信の機会を増やす取り組みに努めた。また本校紹介DVD制作と近隣のPRはコロナ禍において、生徒の自覚と自信につながったと感じている。
---------	--